

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【長崎県】

1 実践テーマ	【V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	五島市立緑丘小学校 ○オリパラ講師招聘事業 全校生徒 485名 ○事前・事後指導 第4学年 82名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 体育科 )
4 目標 (ねらい)	○「多様な動き」の中から、楽しくできる運動を選び、体づくりのために工夫して行う。
5 取組内容	1. 多様な動きに触れさせる。 (1) 体づくり・体ほぐしの運動 2. 自分が取り組みたい動きを選ばせ、創意工夫させる。 (1) 身の回りの物を利用した場の設定の工夫 (2) ほどよい負荷で、楽しく取り組める運動 3. うまく取り組めない子供に対し、個に応じた支援をする。 (1) 友達の動きを模倣させる (2) 自分にあった動きを見つけるために、多様な動きに挑戦させる 4. 自分の動きや心の変化をメタ認知させる。 (1) ICT 機器の活用 (2) 振り返りの時間に、取り組む前と取り組んだ後の気持ちを記録させる
6 主な成果	1. 今回のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントでは、陸上パラリンピアンの方から、「好きなことを見つけること」「見つけたことに一生懸命取り組むこと」の大切さを語っていただいた。運動に苦手意識のある子供たちが、「挑戦してみよう」という意欲を見せた。
	 

	<p>2. 振り返りカードを見ると、ほとんどの子供が、「自分にあった動きを見つけ、創意工夫する」という自らの取り組みに満足する感想を綴っていた。</p>
7実践において工夫した点 （事業の特色）	<p>1. 気軽に運動に取り組めるよう、段ボール箱等の身近な物を利用した場づくりを工夫した。</p> <p>2. 自分の動きをメタ認知できるよう、iPadやプロジェクター等のICT機器を活用した。</p>
8主な課題等	<p>1. ICT機器の設置が煩雑であり、学級単位での取り組みが難しい。</p> <p>2. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント直後ということもあり、運動を苦手とする子供たちが意欲的に取り組んだ。くじけずに挑戦する意欲付けを継続して取り組んでいく必要がある。</p>
9来年度以降 の実施予定	<p>○来年度も、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを活用した取り組みを行いたい。</p>